



(原文は英語。以下は、FoE Japan による和訳)

2026 年 9 月 25 日

Vale／PT Vale Indonesia の株主の皆様へ

**南スラウェシ州ソロワコ、特にロエハ・ラヤ地域における
PT Vale Indonesia による農民への相次ぐ不当な犯罪化、
生活空間の喪失の脅威、および説明責任の欠如に関する株主への対応要請について**

私たちは、Vale 社（Vale）/PT Vale Indonesia（PTVI）の主要株主である皆様に対し、ソロワコ・ニッケル開発事業および東ルウ県トウティ郡に位置する同事業タナマリア鉱区における探査計画がもたらす環境社会影響について、2023 年 8 月、2024 年 2 月、そして 2024 年 10 月に繰り返し書簡をお送りしてきました。これらの書簡において、私たちは PTVI がロエハ・ラヤ地域の胡椒農家や女性たちとの有意義な話し合いに必要な前提条件を満たしておらず、影響を受ける地域コミュニティからの社会的操業許可（Social License to Operate : SLO）を得ないまま事業活動を継続している点を一貫して指摘してきました。

さらに、私たちはタナマリア鉱区を自社の鉱業コンセッションから除外するよう PTVI へ適切に働きかけることを株主の皆様へ度々強く求めてきました。しかしながら、PTVI はこれらの要請を無視しているように見受けられ、タナマリア鉱区は依然として同社のコンセッション内に留まっています。皆様が今日に至るまで意味のある介入を怠り続けていることが、現地の状況をさらに複雑化させ、現地の農民をますます不安定な立場へと追い込んでいることに、私たちは深い懸念を抱いています。実際、前回の書簡から 2 年の間に、現地情勢は悪化の一途を辿っています。

ロエハ・ラヤ地域の農民や女性たちは、さまざまな形態の脅迫や不当な介入に直面してきました。これらには、警察官が住民の自宅を直接訪れる行為¹から、彼らの胡椒畑がある地域にインドネシア国軍の大隊本部を設置する計画²まで様々なものが含まれます。さらに、2025 年 10 月以降続いている現地の農民 1 名に対する不当な犯罪化の試みは、未解決のままです。ロエハ・ラヤ地域のコミュニティに対する圧力や脅迫が続く中、スラウェシ地域林業法執行総局（Gakkum）は 2026 年 8 月 3 日、保護林地域内での農地開墾および小屋の設置容疑で、ロエ

¹ <https://www.bollo.id/laporan-mendalam/intimidasi-dan-ancaman-ekologi-di-blok-tanamalia/>

² <https://makassar.antaranews.com/berita/613653/pembangunan-batalyon-tni-ad-di-luwu-timur-mendapat-penolakan-warga>

ハ・ラヤの農民 3 名を逮捕しました³。実際には、この地域の農民たちは長年にわたりロエハの土地を耕作して生計を立ててきたにもかかわらずです。さらに地域コミュニティは、今回の逮捕手続きが適用されるべき法規定に準拠していなかった疑いがあることも指摘しています⁴。

同逮捕から 3 日後（2026 年 8 月 6 日）、林業省（特にラロナ森林管理ユニット：KPH）の職員 9 名がロエハ・ラヤ地域を訪れましたが、ロエハ・ラヤ胡椒農民団体（APL）はこれを強く拒絶しました。数日前に農民 3 名が逮捕された後のタイミングで、現地の農民たちとの事前のコミュニケーションや対話もないまま訪れた同省職員の存在を、APL は事態をさらに複雑化させ、無用にエスカレートさせるものであると受け止めたためです。

当局は、ロエハ・ラヤの農民や女性たちとの参加型アプローチやコミュニケーションを模索するのではなく、様々な報道媒体を通じて APL の和平的な抗議活動を「暴力行為」と公にレッテル貼りしました（2026 年 8 月 9 日）⁵。それから 1 ヶ月も経たない 2026 年 9 月 4 日には、APL 代表が「土地マフィア」の一員であるとして、さらに不当に誹謗中傷されました⁶。これらの名誉毀損のような攻撃は、PTVI と対立関係にある地域コミュニティの運動を害し、弱体化させようとする明白な試みです。

私たちの考察に基づくと、Gakkum によって実施された措置および一連の報道を通じて APL の評判を貶めようとする執執な行為は、ルメレオ山地における PTVI の企業利益と不可分です。この地域が同社の鉱業コンセSSION内に留まる限り、農民を立ち退かせ、タナマリア鉱区内のコショウ畑を一掃させることは、同社に直接的な利益をもたらすためです⁷。

WALHI 南スラウェシによる空間分析（2023 年）⁸によると、現在タナマリア地域は重複する 3 つの土地利用区分に分かれています。

- (1) 森林地域：25,260.43 ha
- (2) PT Vale Indonesia の鉱業コンセSSION：17,776.78 ha
- (3) ロエハ・ラヤの地域コミュニティの胡椒畑：4,239 ha

タナマリア地域におけるこのような土地利用の重複状況に鑑み、私たちは Gakkum による法執行措置が、この地域から胡椒農家を排除することを目的としていると強く疑っています。これらの農民が立ち退かされれば、PTVI は当局の許可を得た後に、容易にこの地域を占有できるようになります。この文脈において、私たち市民社会組織は、森林生態系の保護を目的とした一般的な林業法執行そのものに反対しているわけではないことを強調しなければなりません。しかしながら、タナマリアのように PTVI の鉱業コンセSSIONと地域コミュニティの生活空間が

³ <https://www.sulselsatu.com/2026/08/06/news/buka-kebun-merica-di-hutan-lindung-loeha-3-orang-warga-ditahan-gakkum-sulawesi.html>

⁴ <https://www.garismerah.id/2026/08/tangkap-dan-tahan-petani-merica-loeha.html>

⁵ <https://sultengraya.com/read/217667/siasat-licik-apl-premanisme-berkedok-petani-lada-di-hutan-lindung-loeha-rama>

⁶ <https://makassar.terkini.id/rekam-jejak-ali-kamri-nawir-sosok-sutradara-di-balik-gurita-mafia-lahan-hutan-lindung-sulawesi/>

⁷ <https://www.bloombergtechnoz.com/detail-news/117597/tambang-baru-vale-di-ri-blok-tanamalia-mitranya-automaker-eropa/2>

⁸ <https://walhisulsel.or.id/4133-laporan-hasil-riset-lambung-merica-nusantara-di-tengah-perluasan-pertambangan-nikel-etnografi-perkebunan-valuasi-ekonomi-kawasan-tanamalia-luwu-timur-sulawesi-selatan/>

直接重複している場所において、通常の林業法執行措置を一律無差別に適用することは認められず、またそうすべきでもありません。

株主の皆様への要請事項

PTVI/Vale の主要株主として、皆様は国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」などの国際規範に基づき、人権侵害や生態系破壊への加担を回避する明確な責任を負っています。したがって、私たちは皆様に対し、以下の行動をとるよう強く求めます。

1. PTVI/Vale に対し、2023 年以來コミュニティが一貫して示している要請に沿って、タナマリア鉱区およびロエハ・ラヤのコミュニティのすべての胡椒畑を自社の鉱業コンセッションから除外するよう強く求めること。
2. PTVI/Vale に対し、2026 年 8 月にスラウェシ地域林業法執行総局がロエハ・ラヤ地域で実施した措置への関与や役割について、仮にそうしたことがあるのであれば、透明性のある説明を要求すること。
3. PTVI/Vale に対し、農民自らの表現の自由や有意義な参加が保障された安全な市民スペースを確保させるために、APL メンバーを「暴徒」と決めつけるあらゆる公的な非難を即座に撤回するよう関連当局に強く働きかけるよう要求すること。
4. 世界銀行グループ国際金融公社（IFC）の「環境と社会の持続可能性に関するパフォーマンス基準」（PS）の遵守状況について、企業自身が作成した報告書のみに依存するのではなく、影響を受けるコミュニティによって独立して検証された結果に基づいて評価するよう確保すること。
5. 現地での情勢悪化が警察、軍、その他の当局による新たな不当介入を招くリスクがあることに鑑み、PTVI/Vale に対する主体的なエンゲージメントを行い、地域コミュニティの表現の自由を含む基本的人権の侵害に株主自身が加担することのないよう、適切な措置を講じさせること。

私たちは、この問題が単なる局所的に起きているテクニカルで法的な紛争ではなく、健全な環境を享受する権利や自らの生計手段で生活を営む権利をめぐる、繰り返されてきた問題パターンであることを改めて強調します。私たちは現地の状況を注視し続けます。株主の皆様には、ご自身の影響力を行使し、PTVI/Vale が上記に掲げた具体的な措置を早急に講じることを確保するよう改めて要請します。

WALHI South Sulawesi
Wahana Lingkungan Hidup Indonesia (WALHI / FoE Indonesia)
Friends of the Earth Japan
Pacific Asia Resource Center, Japan

連絡先：

WALHI South Sulawesi (Muhammad Al Amin, Executive Director)

Add: JL. Aroepala, Kompleks Permata Hijau Lestari Blok Q1, No.8, Rappocini, Kota Makassar, Sulawesi Selatan 90221

Email: muhammad.al.amien@gmail.com / walhisulsel@gmail.com

Tel: +62-8229-3939-591

WALHI National Executive (Faizal Ratuela, Anti Mining and Just Energy Transition Campaigner WALHI)

Add: Jl. Tegal parang Utara No. 14, RT.005/RW.004. Mampang Prapatan, Kota Jakarta Selatan - DKI Jakarta

Email: Faizalabdrahman@gmail.com

Tel: +62 822-9005-6503

国際環境 NGO FoE Japan（担当：開発金融と環境チーム 波多江）

住所: 1-21-9 Komone, Itabashi-ku, Tokyo, Japan 173-0037

Email: hatae@foejapan.org

Tel: +81 3 6909 5983